



鶴ヶ島市立長久保小学校 学校だより

第 6 号

令和7年 8月28日

文責 校長 伏見 隆一

鶴ヶ島市脚折町 4-12-1

TEL 049-286-2160

はばたき



学校に子どもたちの輝く笑顔と元気な声が戻ってきました。学校では、1学期の成果と課題を踏まえ、学校教育目標、目指す学校像の達成に向けて、日々の教育活動をさらに充実させてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

学校教育目標（目指す児童像）

『かしこく やさしく たくましく』

◎かしこく・・・進んで学習する子 ・学ぶことが楽しい子

◎やさしく・・・自分も友だちも大切にする子

いじめをしない、許さない子

◎たくましく・・・進んで運動する子 ・健康や安全に生活できる子

目指す学校像（ミッション）

『笑顔とやさしさに満ちた、夢の実現をめざす学校』

新しいことに挑戦！！ 2学期もさらなる成長を！！

子どもたちは、それぞれに有意義な夏休みを過ごし、たくさんの体験をしたことと思います。長い夏休みが終わり、改めて学校生活がスタートします。

人は、節目のとき、切り替わりのときに「よーし！がんばるぞ。」という新たな気分になります。子どもたちも、新しい気持ちで、何事にも挑戦してほしいと願っています。グローバル化が進み、世界に飛び出す子どもたちには、新しいことに挑戦しようとする力が大切です。

『分からない問題があった。失敗してしまった。…』 子どもは、課題がたくさん出てくるのが当たり前です。何もしなければ、課題も出てきません。自分の課題を一つ一つ解決しながら、成長してほしいです。2学期も頑張りましょう。

子どもたちを、見守ってください・相談してください

夏休み明けのお子さんの様子をよく見てください。様子が変わっていたり、悩んでいた、困っていたり等、遠慮せず、躊躇せず、相談してください。担任はもちろんですが、他の教職員やスクールカウンセラー、様々な相談機関等、気になる事はすぐに相談してください。

9日からの個人面談も、よろしくお願いいたします。

学校の代表として広島に派遣されました

鶴ヶ島市『広島市平和記念式典児童派遣事業』により、6年生が、市内8小学校の代表児童と一緒に広島に行ってきました。平和記念式典への参加、平和記念資料館、原爆ドームの見学等、貴重な体験をしてきました。

『広島であったこと』

6年



私は、実際に広島に行って、8月6日にどんなことがあったのか、どうしたらよりたくさんの人に起こってしまったことを伝え、平和な世界を作れるかという事を学びました。その中でいくつか印象に残った事があります。

一つ目は、原爆ドームと慰霊碑です。原爆ドームでは、骨組みがむき出しになっていて、窓ガラスがあったと思われる部分が爆風によってなくなり、柱が今にでも倒れそうな様子を実際に見ました。そこから80年前にあった事がどれだけ悲惨だったかがわかりました。

慰霊碑では、見て回ったときに日本人以外の慰霊碑もあったので、それだけ多くの方が被害にあった事がわかりました。また、被爆したアオギリというものもあって爆風に巻き込まれてしまったけど再び芽を出して人々に勇気を与えたという話もありました。

二つ目は、資料館です。資料館には、それぞれのテーマごとに写真や実際の展示品、模型などがありました。実際の展示品は、お弁当の中身がわからないほど黒くなったものや瓦にガラスの破片が刺さったものと刺さっていないものを触って比較できるものなどが展示されていました。怪我の写真やその時の様子を表した絵はとても怖くて見るのが辛かったです。その中で特に印象に残ったのは、佐々木禎子さんの事についての展示です。佐々木禎子さんは、2歳という年齢で被爆をして、その10年後に後遺症によって白血病という病気を発症した方で自分の病気の回復を願って鶴を折り続けたという事が書かれていました。実際に原爆の子の像というところにいろんな人が折った鶴が周りにたくさんありました。

三つ目は、広島平和記念式典です。式典には、様々な国の人が来ていました。そして、式典が始まって児童代表の子が平和への誓いを話す番になったときに堂々と話している姿は、とても印象に残りました。広島に行く前に児童代表に選ばれた子はどのようなことをしているかについての動画を見て、平和への誓いを話す児童代表の子は、他の児童と一緒に検討会議というのに参加して、文面を考える会があり、グループごとに、どんな事を聞いている人に伝えたいか話し合って発表をするそうです。それを知ったとき、自分たちでどうやったら聞いている人の周りも平和になるかなどを話し合っている様子を見て、私も平和への意識がとても高まりました。

四つ目は、こども全国平和サミットです。こども全国平和サミットでは、様々な都道府県から来た子どもたちが、被爆者の方から当時の様子などのお話を実際に聞いたり、詩の朗読、各団体による平和への取り組み発表などがありました。特に平和への取り組み発表は、団体ごとに取り組みが違って平和は、一人だけの力ではなく、たくさんの人が協力しないと、いつになっても平和は訪れないんだと考えることができました。

この他にも私は、様々なことを学びました。その中で、広島に行った目的の、実際にあった事や平和がどれだけ大切なのか伝えるには、こうやって実際に話したり、その話を聞いて興味を持ったなら式典の様子を動画で見たりすればたくさんの人に伝えられるのではないかと思います。なので、この話を聞いて少しでも興味を持ったなら平和や原爆について自分なりに考えてみてほしいです。